

平成30年2月23日

3学区テニストーナメント実行委員会(顧問会) 報告

2月23日(金)におこなわれました、3学区テニストーナメント実行委員会(顧問会)の報告をさせていただきます。出席者10名・欠席連絡28通をいただきました。

議事記録

* 春季ダブルス・秋季団体戦・冬季シングルの試合結果報告と反省・課題

※団体戦についての諸問題

○両チーム3名同士の対戦の場合の試合進行(確認)

ダブルスペアの中から一人を抽出し、タイブレークゲームをおこない決定する

○対戦についての進行促進について

試合の消化が遅く、本戦の数日前に予選を終了したブロックがあった。

(対応策の検討)

- ・統一予選日の設定を協議したが、秋季Ⅱ部・公立大会の関係や男女や責任校の複数ある学校やコート面線数の関係で、不可能と判断した。
- ・高体連主催試合、公立大会との関係で試合が予定通り消化できない例があることから、エントリー制限を議論にしたが、3学区大会の主旨から、エントリー数は現状維持とする。
- ・抽選で決まる際のブロック責任校は調整する。ただし、ポイントチームを含む場合はこの限りとしない。(同一校でポイントのないチームが責任校が複数にならない事にする)
- ・個人的な都合(ケガや家族旅行・英検などの資格試験)により試合の拒否は、次年度から例外なく認めない。その場合は3名でのチーム編成にするか、棄権するものと対戦相手校は判断してよい。

○相手校と連絡が取れない例が頻発した。

(特に女子間の連絡の際、不審者電話と勘違いしていることが多い)

(対応策の検討)

- ・次年度より、電話番号のメールで、まず試合の連絡であることを通知し、その後で、再び電話連絡をすることにする。

○団体戦オーダーのシングル順位の間違い(意図的と思われる例があった)

(対応策の検討)

- ・中学の団体戦と違うことを確認し、厳正に試合前の確認をすることとする。

○本戦会場にボールを持ってこなかった事例

予選会場では本戦アップ者・ペアにボールを渡していない事例があった。

(対応策の検討)

- ・出席確認時に、ボールを一缶ずつ配付することを徹底させる

○表彰に個人用のレプリカを贈呈できないか(昨年度の要望)

→今年度から3位まで1チームにつき4人分のメダルを贈呈した。ただし、今後の大会会計予算の動向を見て、継続に関して検討する。

* 本年度の会計報告(平成29年度 予選会場費の精算を含む)

別紙プリントを参照して下さい

* 次年度の試合運営について

- ・各種目の開催時期と本戦会場について

※実施案

ダブルス：予選 5月26日・6月2日・6月9日 各高校

本戦 6月16日(土) 予備日 6月17日(日)

団体戦：2学期中に試合を消化 本戦 平成31年1月14日(月)

シングルス：予選 平成31年1月19日・20日・26日

本戦 平成31年2月2日(土) 団体・単の予備日 3月22日(金)

6月17日の予備日は、必要とならなかった場合に強化選手の練習会を実施する。
対象選手は、高体連ポイント保持者および各校から推薦された2名の選手とする。参加希望者は、事前に参加登録をする。強化練習会のコーチは各テニスメーカー所属の講師を招聘する。

* 次年度に向けての反省および改善について

蜻蛉池公園を本戦会場にしたことによる、生徒の交通費に関する措置

現在、暫定措置として、選手一人あたり500円、団体は1校2000円を給付している。大会予算を圧迫しているが、次年度は継続する。

* その他 大会使用球について(提案)

現在、ブリジストンNX1(4球入り)を3大会の使用球としているが、ウィルソンのツアープロ(4球入り)の使用の要請があった。

現状としてブリジストンNX1に問題点は見当たらないが、試行として、次年度のシングルス大会にウィルソンのツアープロ(4球入り)を用いる。継続利用をするかについては、次年度の顧問会にて協議する。